

一西だより



豊川市立一宮西部小学校通信

令和7年 1月 8日 第29号

発行;校長 村上謙一

3学期スタート

明けましておめでとうございます。
本年もどうぞ一西小をよろしくおねがいします。

昨年 11 月、私はチーム担任制導入のご助言をいただいている先生のご紹介で、秋田県で開催されたキャリア教育全国大会に参加させていただきました。秋田県は常に全国学力学習状況調査の結果がトップです。その秘密に触れる学びの機会になりました。

世界にも類を見ない勢いで、人口減少局面を迎えている日本ですが、秋田県は秋田市を除く全市が消滅可能性都市になっているとのことです。この危機を打開するには教育を充実し、若者が戻ってくるまちづくりをするしかないという切実な思いがあることがわかりました。教職員・子ども・地域住民・行政みんなが同じ認識です。地域の大人が、自分たちが生活する社会を未来につなぐために、学校教育に賭けているのです。

本校がめざしている「地域の宝である子どもは、地域が育てる。学校にとって数年で異動する先生は風、そこで生活する地域は土」とはどういうことかを改めて考えさせられる学びとなりました。本年も、様々な人との出会いを大切にして、学び続ける一人の人間でありたいと考えています。



一西小のこどもたち。学びはおもしろいですよ。ひとつ学ぶと、つぎつぎにわかることがふえていきます。そして、いろんな人とつながっていきます。考えることがふかくなり、友だちがふえていきます。学びは人生をおもしろく、ゆたかにしてくれます。みなさんの人生がどうぞ、ふかく、おもしろく、ゆたかになりますように。

【2 学期末学校評価アンケートから抜粋 12/20 集計】

※チーム担任制への期待と不安

- ・教科担任制への肯定意見 親 94% 子 93%
 - ・現行チーム担任への肯定意見 親 89% 子 89%
 - ・来年のチーム担任への肯定意見 親 55% 子 72%
- 成果があるという評価をいただいたこと
- ・楽しい学校生活 ・わかりやすい授業 ・教職員の相談体制 ・いじめや問題行動への対応 ・楽しい行事や体験活動の工夫 ・適切な情報提供 他

●課題があるという評価をいただいたこと

- ・家庭学習の定着 ・あとしまつができる生活習慣の定着

【令和7年4月、チーム担任制をさらに進めます】

チーム担任制とはこれまでの固定的な担任制を改め、学年の 3~4人の教職員が交代でお子様の担任を務める新たな担任制です。これまでに何度もお知らせしている通り、全国的に広がりつつある取組ですが、豊川市では本校が最初の実践となります。

本校は令和 5 年度から「チーム担任制」の調査研究をはじめ、6 年度は 3 年生以上で毎週 1 回の「チーム担任の日」を実施して、その課題を探りました。この間、職員での協議や先進校視察と研修会を重ね本校の教育課題に合ったスタイルを練り上げて、今春から日常的な取組へとさらに一歩進めることと致しました。

一人の子どもを、担任一人の個性で見取らず、多様な教職員で多面的に理解をして、子ども一人ひとりに個別最適な支援をすることがこの制度の究極的なねらいです。また、子どもの主体性や当事者意識が高まることも報告されています。

「担任の先生が選べない」「となりのクラスが良く見える」というこれまでの担任制の弊害から脱却し、垣根のないチーム力が高い学校を目指します。

上の学校評価アンケート集計「※チーム担任制への期待と不安」の項目で、保護者の「来年のチーム担任へ肯定意見」が55%と低めにでています。これは「とても期待する」13.6%と「期待する」42パーセントを合算した数字です。一方で「とくに期待も不安もない」が 30%と大きな数字がでました。

つまり、「具体像がわからない」ので肯定も否定もできないとも言えます。そこで今後、「一西だより」で今春、さらに一歩進んだ取組の**詳細をシリーズでお伝えすることと致します**。ご期待ください。